

北栄町健診受診率向上に向けた施策検討会開催要領

1. 趣旨

町民一人ひとりの健康実現に向け、健康増進・生活習慣病の予防に重点をおいた「健康ほくえい計画」を平成24年3月に見直し、その達成に向け取組みを進めているところである。この計画の中に「健康診査の充実」という項目があるが、健診受診率の向上には至っておらず、特に北栄町の75歳未満男性の死亡率は鳥取県と比べて高くなっている。がん・心疾患・脳血管疾患の3大死亡疾患も同様の状況にある。健診受診者を増やし、早期発見・早期治療により若い年齢でのがん死亡等を減らしていくことがとても重要となっている。

また、生活習慣病を予防する上でも健康診査を受け、生活習慣改善等の健康づくりを推進していくことが大切となってきている。

そこで、上記のような状況に対応し「健康ほくえい計画」の目的を達成するため、町内の関係機関・団体等と意見交換を行うことにより、今後の具体的な取り組みにつなげていくことを目的とする。

2. 目指す将来像

・目標

町民が長く健康を保ち、楽しく充実した生活を送ることができる。

・具体的な取組み

- ① 誰もが健康診査を受けやすい体制をつくる。
- ② 健康診査の結果をもとに、健康を改善又は維持するための適切な取組みを行う。

・取組みを計る指標

- ① 健康診査・各種がん検診受診率の向上
- ② 75歳未満までの受診者数の増加
- ③ 医療費の減少
- ④ 75歳未満のがん等死亡者数の減少

3. 参集範囲

下記組織団体の代表者

- ・商工会
- ・がん検診推進パートナー企業
- ・JA
- ・農業生産者
- ・自治会長
- ・健康推進員
- ・食生活改善推進員
- ・健康サポーター

オブザーバー

- ・中部福祉保健局
- ・医師（胃がん検診協力医療機関）

4. 意見交換を行いたい項目

○現状把握

各種健診の状況・事業所、町の取組み

○事業施策検討

受診率向上に向けた短期、中期、長期施策

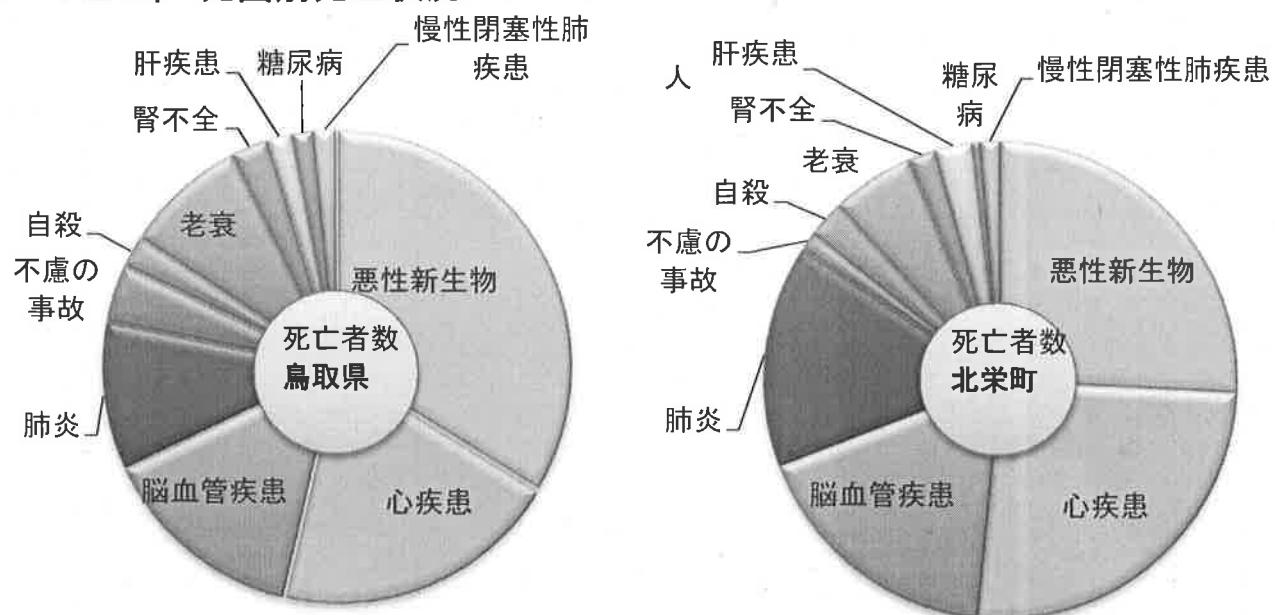
○事業評価

平成 26 年度健診受診率向上に向けた取り組み 健康推進課

	がん検診	特定健診・基本健診
健診体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・特定年齢に無料クーポン券を発行 胃がん・大腸がん検診（41歳、46歳、51歳、56歳、61歳） 子宮がん検診（21歳）、乳がん検診（41歳） ・大腸がん検診を自治会ごとに実施（対象を30歳以上と広げている） ・H26年度から医療機関での肺がん検診を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・日曜健診（5セット）を実施・・・10月26日 ・人間ドックを実施（40歳、45歳、50歳、55歳、61歳） ・H26年度から、特定年齢の方に肝炎ウイルス検査費用を助成（自己負担金無料） ・H26年度、健診会場を大栄健康増進センターと北条健康福祉センターの2会場で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・19歳～39歳の基本健診を実施 ・19～39歳の基本健診と特定健診の検査項目を国基準の他に追加している。（貧血・尿酸・クレアチニン・eGFR）
啓発関係	<ul style="list-style-type: none"> ・町報、ホームページでの啓発、H25年度は「がん体験談」、「がん検診推進パートナー企業」を掲載した。 ・事業所への検診案内 <ul style="list-style-type: none"> ・健康推進員等に検診自治会放送と健診日程ポスター掲示を依頼 ・健康講座等での受診啓発 ・医療機関にポスター、チラシを掲示 ・セット健診、女性のがん検診日の前に町放送で案内をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診は対象者に受診券を送付
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診等未受診者に再度受診勧奨を実施 ・がん要精密検査者で未受診者に電話、文書で受診勧奨を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢等対象を絞って未受診者に受診勧奨を実施 ・健診結果に基づき、保健指導を実施 ・結果通知に生活習慣病予防の資料を同封

北栄町の死亡状況、健診受診状況

図1 H24年 死因別死亡状況



北栄町の死因別割合は、悪性新生物(がん)が25.8%、心疾患が25.8%、脳血管疾患(脳卒中)が17.6%で、これを合わせた3大死因は69.2%と約7割を占めています。鳥取県に比べて心疾患と肺炎の割合が高くなっています。

図2

単位:人口10万人対の数字

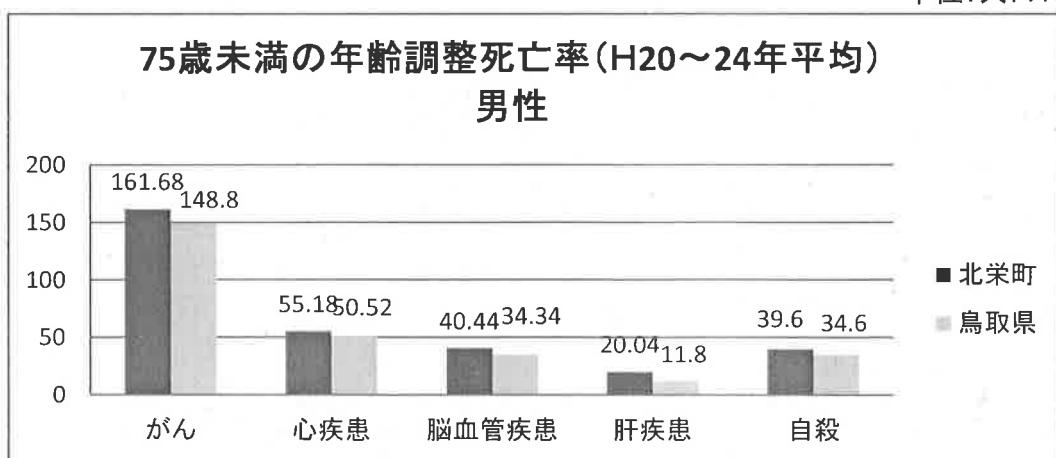
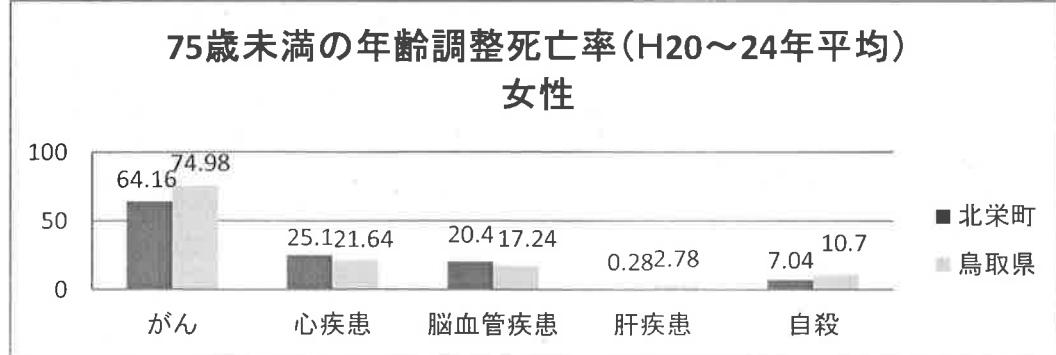


図3



75歳未満の年齢調整死亡率は、男女とも「がん」が高く、特に男性が高くなっています。その他死因も男性が女性より高く、男性は鳥取県より高くなっています。

図4

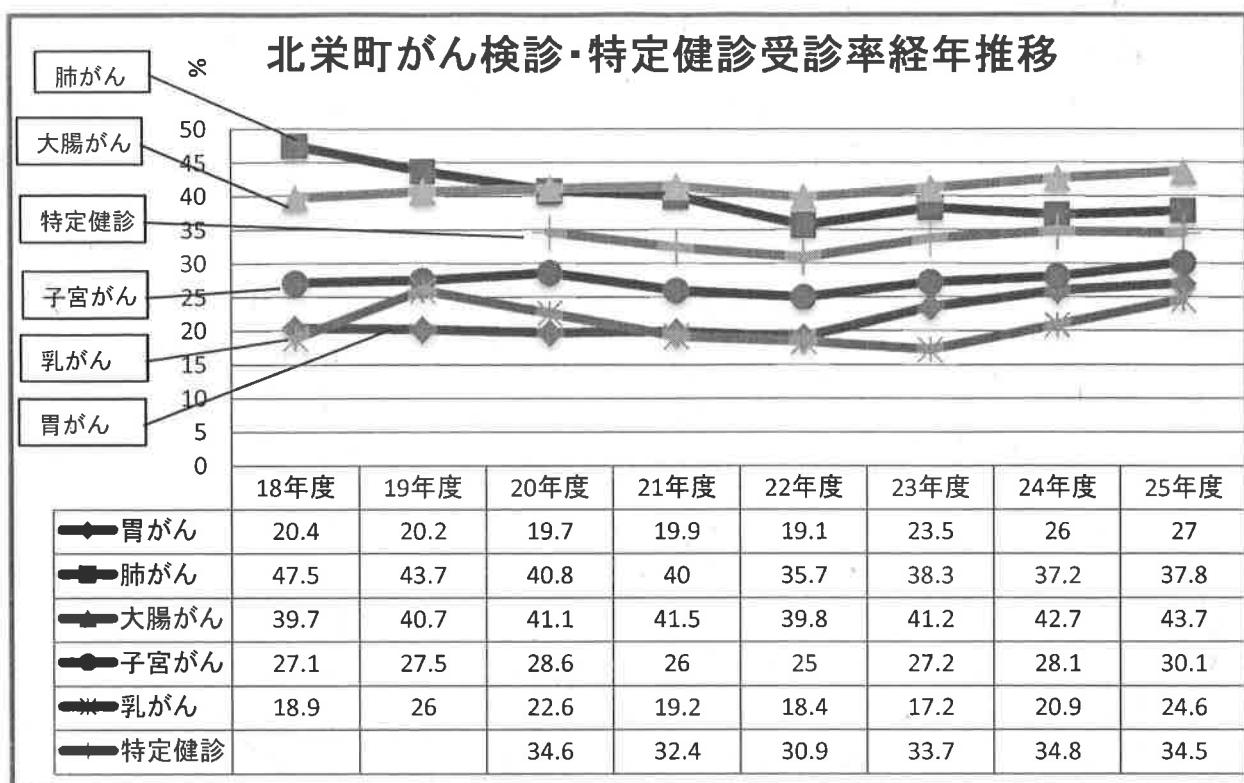


図5

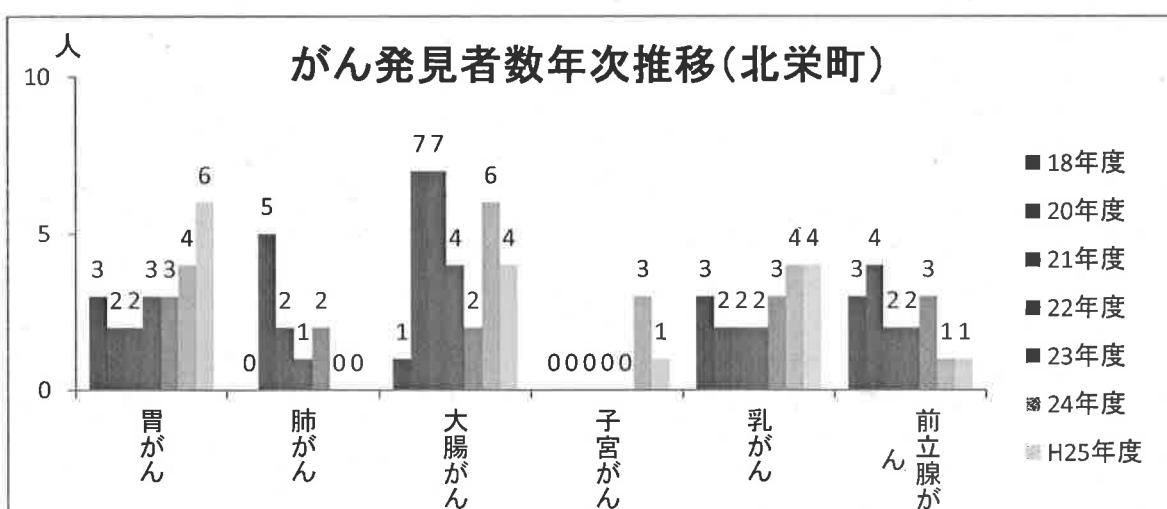


図6

